

AI 通訳機「ポケットーク S2 Plus」が 株式会社みずほ銀行の全国の支店窓口で導入 ～多言語対応に加えて、「文字によるコミュニケーション」ツールとしても活用～

ポケットーク株式会社(本社:東京都港区芝二丁目2番12号 浜松町 PREX4階 取締役 代表執行役社長兼 COO:若山 幹晴)は、AI 通訳機「ポケットーク S2 Plus」(ビジネスモデル)が、株式会社みずほ銀行(本社:東京都千代田区大手町 取締役頭取:加藤 勝彦)の全国の支店窓口で合計 317 台導入されたことをお知らせいたします。



AI 通訳機「ポケットーク S2」シリーズは、主に対面でのコミュニケーションに特化した多言語通訳の専用デバイスで、90 言語を音声・テキストに翻訳し、2 言語をテキストのみに翻訳します。

みずほ銀行は、年齢・性別・障がいの有無などにかかわらず誰にでも利用しやすい銀行を目指しており、今回の導入は近年増加傾向にある日本語を母国語としないお客さまへのサービス向上に加え、聴覚に障がいのあるお客さまやご高齢のお客さまとの円滑なコミュニケーションを実現することも目的としています。

「ポケットーク」(端末)は高い音声認識、翻訳精度を持っており、説明の際の日本語の文字起こしも可能です。従来は聴覚に障がいのあるお客さま、ご高齢のお客さまとのコミュニケーションには筆談対応をお願いしておりましたが、職員の説明時に「ポケットーク」を使用することで、ディスプレイに表示される文字でのやり取りが可能となります。筆談の代替としての使い方や、筆談と「ポケットーク」を同時に使うことにより、窓口業務におけるあらゆるコミュニケーションをよりスムーズに実現します。

加えて、窓口ではお客さまの重要な個人情報を取り扱うため、翻訳内容のセキュリティ保護が求められますが、特にセキュリティが強化された「ポケットーク S2」のビジネスモデルはグローバルなセキュリティ基準に準拠しており、安全性の確保が可能であることから採用されました。

ポケットーク株式会社は「言葉の壁をなくす」をミッションに掲げ、互いに自国語のまま対話でき、深くわかり合える世界の実現を目指して「ポケットーク」シリーズの提供を世界中に広げてきました。多言語対応に加えて、あらゆる人に「言葉の壁のない社会」を提供するべく、様々な現場でのコミュニケーション支援を推進してまいります。

【 AI 通訳機「ポケットーク S2」とは 】

「ポケットーク S2」は 2024 年 10 月に販売を開始した最新機種で、90 言語を音声・テキストに翻訳し、2 言語をテキストのみに翻訳できます。従来機種より Wi-Fi がなくても通信可能な国と地域が拡大し、世界 170 以上の国と地域で、Wi-Fi のない所でもそのまま使えるモバイル通信機能を内蔵しています。また、バッテリーの持続可能時間も大幅に改善し、あらゆるシーンでお使いいただけるようアップデートいたしました。

「ポケットーク アナリティクス」との連携によりセキュリティ面もさらに強化され、グローバルにおけるセキュリティ基準に準拠することで、個人でのご利用はもちろん、企業や団体、自治体での導入において安心してお使いいただけます。

詳細 URL : <https://pocketalk.jp/device>



コピーライト表記について

■製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記の通りお願いいたします。

©POCKETALK CORPORATION

お客様お問い合わせ先

■ポケットーク・サポートセンター : <https://pocketalk.jp/support>

■ご購入前相談窓口 : <https://pocketalk.jp/business/contact>

本製品に関する報道関係者のお問い合わせ先

■担当 : ポケットーク株式会社 広報

■連絡先 : 「ポケットーク」専用 報道関係者 URL <https://pocketalk.jp/media/>

TEL 050-5533-4605 FAX 03-6254-5236 MAIL pr@pocketalk.com